

藤井達吉コレクションFT1403《継色紙落葉》解説

凡例

- ・本資料は、愛知県美術館が所蔵する藤井達吉コレクションFT1403《継色紙落葉》（全97点）の目録である。
- ・各作品には藤井達吉による歌が変体仮名を交えずし字で書かれている。今回、愛知県美術館友の会 所蔵品管理サポート部会有志の協力を得て歌の解説を行い、その成果をまとめた。
- ・FT1403《継色紙落葉》を構成する個々の作品の名称は、解説された歌を元に、歌の上の句、5文字、もしくは5,7文字をとって名称とした。名称が同一となる場合は、元の変体仮名を添えた。
- ・各作品のデータは、コレクション番号、寸法（mm）、形状、員数、備考および解説の順に記載した。
- ・解説部分は、作品名、くずし字の読み下し文および現代仮名遣い文の順に記載し、担当者名をイニシャルで付した。
- ・担当者名とそのイニシャルは、下記のとおりである（氏名五十音順、敬称略）。

浅井國雄	K.A
新井玲子	R.A
伊藤雅子	MI
萩野孝	T.O
加藤喜美代	K.K
蟹江舟美	H.K
丹阿弥彰子	A.T
平松章子	A.H
武藤和子	K.M
村尾哲	S.M

- ・解説の文中において使用した記号の意味は下記の通り。
□：剥落等により文字が欠けている部分
○：文字は認識できるが解説できなかった文字

編集 高木久子（H.T）

FT1403《継色紙落葉》の基礎調査は愛知県美術館・副田一穂、中野悠、長屋菜津子が行い、高木久子、三浦みちる、若山満大が調査補助を行った。

藤井達吉の歌を解説するにあたり、多大なご協力を賜りました愛知県美術館友の会所蔵品管理サポート部会の有志の皆様および碧南市藤井達吉現代美術館・土生和彦氏に、心から御礼申し上げます。



1403-3

176×226 掛幅 1幅

かわり表装(一文字、風帯なし)、落款あり/添付ラベル「赤22」

人の世の(非登の世乃)
 非登の世乃 堂悲祢 閑散ね 七十七
 年 餘九も い支許し 以閑佐連天 来志
 (人の世の 旅寝重ねて 七十七年 よく
 も生き来し 生かされて来し) (A・T)

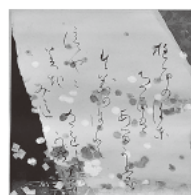


1403-2

162×229 掛幅 1幅

落款あり/添付ラベル「赤20」

草も木も
 久散も木裳 有都万起萬支 亅 あ礼久留布
 い万 堂い布有乃春支 羅無所
 (草も木も 渦巻き巻きて 荒れ狂う い
 ま台風の 過ぎらんぞ) (T・O)



1403-1

208×215 掛幅 1幅

落款有/添付ラベル「赤19」

夢の如
 遊面の許東 有面盤 有留可裳 堂萬の許
 登 倍や二 美地み遅 有連し可李計留
 (夢の如 梅はあるかも 玉の如 部屋に
 満ち満ち 嬉しかりける) (A・T)



1403-6

173×253 掛幅 1幅

落款2つあり/添付ラベル「赤26」

春なれや(波流な礼や)
 波流な礼や 野美地を遊気盤 非婆りな起
 ぬ 發布美々わ連尔 支古へ天有礼し
 (春なれや 野道を行けば 雲雀鳴きぬ
 遠耳吾に 聞こえて嬉し) (T・O)



1403-5

176×227 掛幅 1幅

落款有左下/添付ラベル「赤24」

紅葉時雨
 も美し之俱礼 有け都、見川、遊九
 和連の 人の世尔 有萬礼し あ李可多さ
 をし類
 (紅葉時雨 受けつつ見つつ 行く吾の
 人の世に生まれし 有り難さを知る) (H・T)



1403-4

160×214 掛幅 1幅

かわり表装(一文字、風帯なし)、落款あり/添付ラベル「赤23」

何鳥か(奈尔登里可)
 奈尔登里可 那いて天を留那里 加婆波や之
 ひ止り之遊け盤 起与気 可里け李
 (何鳥か 鳴いておるなり 榊林 一人し
 行けば 清げかりけり) (K・M)



1403-9

176×250 掛幅 1幅

落款あり/添付ラベル「赤35」

深山路に
咲ける花の 清しもよ 吾恋
しさに 問えば微かにそよげる) (K・M)

美や万知二 散気類 波な乃 寸駕し毛餘
和連許布 しさ二 東恵婆 閑所可丹
曾餘 気類



1403-8

169×234 掛幅 1幅

落款あり(「空」)/添付ラベル「赤34」

庵庭の 草ども静かに 実りける この
小春日を 静かに光れる) (A・T)

い本丹波の 久散東裳 志川可丹
け留 許の小波類日を 之川可丹 非可礼
類



1403-7

165×219 掛幅 1幅

落款「空」/添付ラベル「赤27」

夢もよし
遊めも餘し 有川、万堂与し 古のも於乃
母 雲波な賀礼 那駕類、 遊九へ散堂面
須 (夢もよし 現またよし 此のおのもの
雲は流れ流るる 行方定めず) (A・T)



1403-12

140×219 掛幅 1幅

「朱印の貼り付け、落款「空」/添付ラベル「赤48」

梅描けば 思うことなし これの世に
梅あればこそ 生くちやうものを) (A・H)

雲面可け盤 おも布 許登那し 許礼の世
に 有面あ礼婆許所 い久天布もの遠



1403-11

144×202 掛幅 1幅

/添付ラベル「赤41」

起き出でて
をきい傳々 見連 春駕しも与 乃許牟
の月乃 悲加里轉 ありけ
(起き出でて 見れ 清しもよ 残んの
月の 光りてありけ) (K・K)

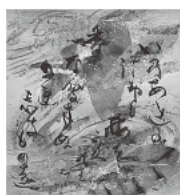


1403-10

163×254 掛幅 1幅

落款有(「空」)/添付ラベル「赤36」

春来れば (波留久礼盤)
波留久礼盤 や萬登知の遊面 よしのの遊
め 東呂登呂の美川能 な川 可し起可母
(春来れば 大和路の夢 吉野の夢 とろ
とろの水の 懐かしきかも) (K・M)



1403-15

166×182 掛幅 1幅
/添付ラベル「青3」

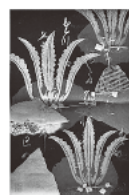
いのあれば
い乃あ連盤 計布も梅を 可久羅無所 香
の な駕来ぬ 有連 志支もの遠
(いのあれば 今日も梅を 描くらんぞ
香のながきぬ 嬉しきものを) (H・T)



1403-14

162×223 掛幅 1幅
添付ラベル「青1」

庵庭の (以保尔波の)
以保尔波の 雲面散支所面ぬ □ 俱非春乃
波留盤来ぬ天 □ 和連尔都具 可や
(庵庭の 梅咲き初めぬ □ ぐいすの 春
は来ぬて □ 吾に告ぐかや) (T・O)



1403-13

180×278 掛幅 1幅
落款あり/添付ラベル「赤49」

今日もまた (計布も末堂)
計布も末堂 や万能於久杼二 堂川棟 い
李 九散登可堂羅布 己の 堂ぬしさ餘
(今日もまた 山の奥土に 訪ねいり 草
と語らう この楽しさよ) (H・K)



1403-18

145×178 掛幅 1幅
/添付ラベル「青8」

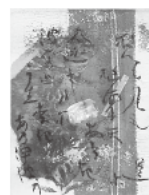
静寂の
静寂 乃 許のあし堂はも 梅可起天 悲
東李 堂ぬし裳 いのち 堂萬い傳
(静寂の この明日はも 梅描きて 一人
楽しも 命賜いて) (H・T)



1403-17

167×214 掛幅 1幅
/添付ラベル「青6」

何鳥か (奈丹東理閑)
奈丹東理閑 那支天 遠類奈里 加婆波や
之 非止里 □ 遊面盤 清し支可も餘
(何鳥か 鳴いておるなり 樺林 一人 □
ゆめば 清しきかもよ) (H・T)



1403-16

145×191 掛幅 1幅
/添付ラベル「青4」

日も月も
悲も月も 遊面尔天 安李起 太迦や万尔
波奈止 可堂李起 あ乃伊波乃 邊尔
(日も月も 夢にてありき 高山に 花と
語りき あの岩の辺に) (K・M)



1403-21

119×177 掛幅 1幅
/添付ラベル「青12」

誰が為に
堂駕堂面尔 佐久尔波あ羅傳 □美乃邊の
志許能し己久佐 散久へ久さ起ぬ
(誰が為に 咲くにはあらで □み之江の
醜の醜草 咲くべく咲きぬ)
(S・M)



1403-20

145×216 掛幅 1幅
/添付ラベル「青11」

今日もま□(け布毛 万□)
け布毛 万□いのち 堂万い□久散万
久羅 い都の有美 う美 散□美の 雲美
(今日もま□ 命賜い□ 草枕 伊豆の海
海 さ□みの海)
(A・T)



1403-19

137×233 掛幅 1幅
/添付ラベル「青10」

庵庭も
い本尔波も 波類盤 来尔け里 雲俱非春
乃 者都祢を起け盤 雲連し 可り 計李
(庵庭も 春は来にけり 鶯の 初音を聞
けば 嬉しかりけり)
(H・T)



1403-24

206×227 掛幅 1幅
/添付ラベル「青20」

山里に
や萬散止尔 あ牟抒無乃 丁子起李二都々
か之閑 起々を理 夜乃布久類 末傳
(山里に 行燈の丁子 切りにつつ 河鹿
聞きおり 夜の更くるまで)
(H・T)



1403-23

269×617 掛幅 1幅
落款なし/添付ラベル「青16」

人の世の(非東の世乃)
非東の世乃 堂悲尔轉 あ留迦 け布も万
堂 都へを太餘里尔 ひ止理遊九な類
(人の世の 旅にてあるか 今日もまた
杖を頼りに 一人行くなる)
(S・M)



1403-22

166×212 掛幅 1幅
/添付ラベル「青15」

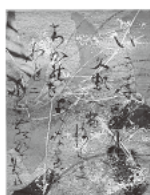
老いぬれて
於悲奴連豆 祢駕布 許止奈し 気布毛万
多 以乃遲堂万ひ轉 有面遠 可起奴類
(老いぬれて 願うことなし 今日もまた
命賜いて 梅を描きぬる)
(H・K)



1403-27

170×180 掛幅 1幅
/添付ラベル「青29」

夢よ夢
遊面与遊め 起能布の夢二 計布夢 あ春
や い可な類夢や 見川羅牟
(夢よ夢 昨日の夢に 今日夢 明日や如
何なる 夢や見つらん)
(A・T)



1403-26

165×217 掛幅 1幅
落款なし/添付ラベル「青26」

怒り男の 狂えるごとき
(い可李男 乃 久類へ留許止支)
い可李男 乃 久類へ留許止支 おゝな美
乃 知加羅遠 和連二 和加散勢太万へ
(怒り男の 狂えるごとき 大波の 力を
吾に 湧かさせたまえ)
(S・M)



1403-25

121×176 掛幅 1幅
/添付ラベル「青22」

伊豆の海
伊豆乃有美 散駕美乃 雲見□ 許のあし
堂 志万乃 計無里□ 有川九之 可も餘
(伊豆の海 相模の海□ この明日 島の
煙□ 美しかもよ)
(M・I)



1403-30

132×180 掛幅 1幅
落款「空」/添付ラベル「青46」

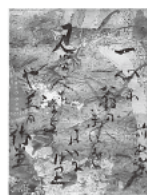
旅枕
堂非万久羅 月○計尔 己布之 ちゝ
波、乃 曾の於も可気乃 面尔有可 婦可
裳
(旅枕 月○けに 恋うし 父母の その
面影の 目に浮ぶかも)
(S・M)



1403-29

172×234 掛幅 1幅
/添付ラベル「青33」

山あらば
や万あ羅婆 や萬許へ遊可無 有美あ羅婆
うみ 和堂里 遊可牟 あ乃 止裳 の○
止と
(山あらば 山越え行かん 海あらば 海
渡り行かん あの友の○と)
(H・T)



1403-28

163×214 掛幅 1幅
/添付ラベル「青32」

一心に
一心尔 翁乃末いを 万い尔けり 見留人
も奈支 や萬乃御堂 前夜○
(一心に 翁の舞を舞いにけり 見る人も
なき 山の御堂 前夜○)
(K・M)



1403-33

195×254 掛幅 1幅

包紙に「新9」、巻止「新2」または「3,4」落款有左下/

今朝もまた (氣散も万太)
 氣散も万太 い乃地 堂萬い天 ゐ堂里
 計李 八十 翁と 奈里之 閑志 許佐
 (今朝もまた 命賜いて 居たりけり
 八十翁と なりし畏さ)
 (A・T)



1403-32

228×255 掛幅 1幅

巻止「新2」/

山も海も
 や萬も有美母 い王も久佐木裳 もの乃可
 波 遊久へ九 伊迦傳 や万ぬ□□ 久裳
 (山も海も 岩も草木も ものかわ行
 くべくいかで やまぬ□□雲) (H・T)



1403-31

151×237 掛幅 1幅

左隅落款/添付ラベル「青48」

朝雲の
 あ散久裳の あ万李 有川九之 可し許散
 二に 所の遊へし羅須 堂々々 遠呂駕無
 (朝雲の あまり美し 畏さに その故知
 らず ただに拜む) (K・M)



1403-36

194×271 掛幅 1幅

巻止「新7」、左隅落款/

このあした
 古乃あし堂 たかや萬 遊け盤 止りの奈
 九可裳 春駕 しも餘 □□□□□□□□
 (このあした 高山行けば 鳥の鳴くかも
 清しもよ □□□□□□□□) (A・H)



1403-35

99×121 掛幅 1幅

巻止「新8」、落款有/

山峽に
 や万加いに 許裳里轉 波那東 可堂り
 難な 爾し 無可し 奈川可し 面尔有駕布 可
 (山峽に こもりて花と 語りにし 昔懷
 かし 目に浮かぶかな) (H・T)



1403-34

153×224 掛幅 1幅

巻止「新4」、左隅「空」落款/

人の世の (非東乃世能)
 非東乃世能 堂非祢 於も非川 や萬遠見
 川 有美見都 た飛を○ おも布 和連盤
 安留可難
 (人の世の 旅ね思いつ 山を見つ 海見
 つ 旅を○思ふ 吾はあるかな) (K・M)



1403-39

122×180 掛幅 1幅

包紙に「新14」、「15」のメモ/

何故の
奈にゆ 堂非東盤 し羅須 久散万久
奈遊へ乃 堂非東盤 し羅須 久散万久
良 有川連類 月を 遠呂駕美 遊九裳
(何故の 旅とは知らず 草枕 うつれる
月を 拝み行くも)
(H・I)



1403-38

202×270 掛幅 1幅

巻どめに「新12」、包みに「新10」、署名「空庵」、落款「空」/

高山に
堂閑や万丹 非東李之 居連波 お東も那
し 奈二可堂流可や 東李 和太里遊久
(高山に 一人し居れば 音もなし 何語
るかや 鳥渡り行く)
(A・I)



1403-37

147×339 掛幅 1幅

巻止「新7」、「12」、左隅落款2個/

井之口に
井乃久地に い乃遅堂万い旦 閑堂し計奈
之 岳の寿能 波類を 牟閑恵 氣留可難
(井之口に 命賜いて 忝し 岳の寿の春
を迎えけるかな)
(H・I)

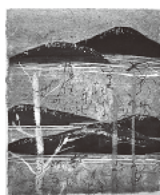


1403-42

150×189 掛幅 1幅

巻止「新21」/

庵庭の(い本尔波能)
い本尔波能 有面ち李 所面奴 波羅者良
止 あし堂乃月乃悲可連類 あした□
(庵庭の 梅散り初めぬ はらはらと 明
日の月の 光れる明日□)
(K・M)

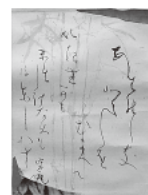


1403-41

214×261 掛幅 1幅

落款あり、巻きどめに「新20」「14」/

山深く
や萬布 可久い里 起波 萬札 ハば 許
禮の 世二和連 悲登 里 加と おも
ひぬ留 可難
(山深く 入り極まれば これの世に 吾
一人かと 思いぬるかな)
(K・K)



1403-40

226×300 掛幅 1幅

巻止「新17」、「4」、左隅「空」/

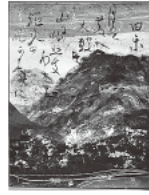
新しき
あ堂羅し支 登しを む可へて 以起無可
も 閑堂 し計なくも 許東し八十
(新しき 年を迎えて 生きんかも 忝く
も 今年八十)
(A・H)



1403-45

97×316 掛幅 1幅
巻どめに「16」「新29」、落款「空」/

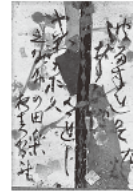
夜もすがら
夜も春駕羅
乃 良の堂非波母
(夜もすがら 居寝られぬままに 来し方
の 奈良の旅はも 山の旅はも) (A・T)



1403-44

164×219 掛幅 1幅
巻止に「新26」、「18」/

田楽
田楽 月盤 散へ 太鼓盤 山尔非悲支
和太里 炬火の 非可李に 田楽波 春、
卒
(田楽 月は冴え 太鼓は山に 響き渡り
炬火の光に 田楽は進む) (H・K)



1403-43

120×176 掛幅 1幅
落款なし/

春来れば (波留来連盤)
波留来連盤 於毛ひ波 有連し や萬乃於
久之よ能布の田楽 夜春駕羅 類
(春来れば 思いは嬉し 山の奥 所能の
田楽 夜すがらなる) (A・T)



1403-48

200×268 掛幅 1幅
巻止に「新35」、「2」、落款サイン有/

今朝もまた (計散も萬堂)
計散も万堂 い乃ち堂萬い天 みる堂里けり
八十翁登 和連な里尔 け李
(今朝もまた 命賜いて いたりけり
八十翁と 吾なりにけり) (A・T)



1403-47

177×295 掛幅 1幅
巻どめに「新33」、おそらく落款あり/

故知らず
遊へし羅須 け布盤 ち、波、 古非し可
りけ里 を非ぬ連抒 おさ那起 許登九
ち、波、 許非志
(故知らず 今日父母 恋しかりけり
老いぬれど 幼きごとく 父母恋し) (A・T)



1403-46

97×291 掛幅 1幅
落款あり、巻どめに「新30」「19」/

故郷を
布類散東を 遊閑無東須礼盤 志美之美登
知、波、許非し 和礼老ひ ぬ連抒
(故郷を 行かんとすれば しみじみと
父母恋し 吾老いぬれど) (A・T)



1403-51

184×239 掛幅 1幅
落款あり(「夢」)、包紙に「新42」/

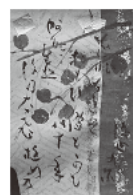
向か□山に(無可□や万尔)
無可□や万尔 四日の月乃 見へ丹 計り
於、い閑堂 羅牟所 己の や□の邊丹
(向か□山に 四日の月の 見えにけり
おおい語らんぞ このや□の辺に)(S・M)



1403-50

220×295 掛幅 1幅
包みに「新40」、落款あり/

天が下
あ面駕志堂 和礼志類もの□ 和礼の美所
ち抒里な久奈里 万都可勢の於東
(天が下 吾知る者□ 吾のみぞ 千鳥鳴
くなり 松風の音) (K・K)



1403-49

138×208 掛幅 1幅
包紙「新41」巻止「新36」、「8」、落款「夢」/

老いぬれば
遠非ぬ連盤 於もひ傳も可も 八十年
阿能 堂悲 許乃太飛遊め乃 許止九尔
(老いぬれば 思い出もかも 八十年 あ
の旅この旅 夢の如くに) (T・O)



1403-54

216×243 掛幅 1幅
巻どめに「3」「新43」、落款「空」/

老いぬれど
遠非ぬ連抒 ち、波々己非し 古東もな
九 堂々 古布し母を散な支 古東九
(老いぬれど 父母恋し こともなく た
だに恋しも 幼き如く) (S・M)



1403-53

149×344 掛幅 1幅
落款あり、巻きどめに「新45」「17」/

庵庭に
い保尔波二 都九しの生非ぬ 有礼之支丹
可来天見尔け里 許の波□日 可難
(庵庭に 土筆の生いぬ 嬉しきに 描き
てみにけり このは□ひかな) (H・I)



1403-52

164×319 掛幅 1幅
包みに「新44」、落款「空」、藤井仕立ての表具か/

大手広げ
於本手非呂気 和連盤 堂々へ牟 伊予乃
久仁の 支久間の 波万能 遊布日所羅
波母
(大手広げ 吾は称えん 伊予の国の 菊
間の浜の 夕日空はも) (K・M)



1403-57

115×156 掛幅 1幅

あの宮の
安能三やの さる波二散起し 幾久の波奈
の 面尔有加布可も 於散那起おも非
(あの宮の 狭庭に咲きし 菊の花の 目
に浮かぶかも 幼き思い)
(K・M)



1403-56

147×178 掛幅 1幅

八双「24」、左隅落款／

垂乳根の
堂羅知祢能 波々所 許布し裳をひぬれ
東所の遊へし羅二 太々尔己非し起
(垂乳根の 母ぞ恋うしも 老いぬれど
その故知らに ただに恋しき)
(K・M)



1403-55

124×288 掛幅 1幅

落款「空」、八双に「14」／

今朝もまた (計散も万堂)
計散も万堂い乃遅 堂万い亘て みた李け
里 安散日尔牟可悲 遠良か無 和連波
(今朝もまた 命賜いて いたりけり 朝
日に向かい 拝む吾は)
(A・T)

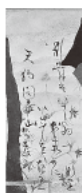


1403-60

140×173 掛幅 1幅

右下に印

庵庭の紫草は
(い本尔波の 牟羅散起久さ盤)
い本尔波の 牟羅散起久さ盤 さ起尔計李
有連し□可も与 許の□ろ波□の
(庵庭の 紫草は 咲にけり 嬉し□かも
よこの□ろは□の)
(H・K)

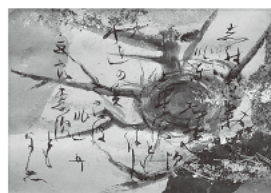


1403-59

134×328 掛幅 1幅

左隅「空」落款

別○は
別○盤八十翁 お己所可に い牟を起里
天狗問答 山志都可 那里
(別○は八十翁 厳かに印を切り 天狗問
答 山静かなり)
(A・T)



1403-58

321×230 掛幅 1幅

白玉も
志羅堂萬も 非東二志羅へ須 志羅須と毛
餘し 和連の美 之良波 非止丹 之良惠
須とも 与志
(白玉も 人に知らへず 知らずともよし
吾のみ知らば 人に知らへずともよし)
(K・M)



1403-63

152×233 掛幅 1幅

これの世に (許連の世二)
 許連の世に 祢加不古登の 奈計連登毛
 ち、波、与 波羅可良与 堂々己ひし裳
 (これの世に 願うことの 無けれども
 父母よ 同胞よ ただ恋しも) (S・M)



1403-62

176×277 掛幅 1幅
 落款有

果てしなき
 波轉し那支 土佐乃 有美乃 あ羅なみ二
 可起里あ留身遠 餘勢天盤 可へ春へ無
 ろち尔轉
 (果てしなき 土佐の海の 荒波に 限り
 ある身を 寄せては返す 遍路路にて)
 (S・M)



1403-61

135×232 掛幅 1幅
 落款有

元来東西なし
 元来 東西なし 何處南北あり 迷故二界
 之呂 悟故 十方空
 (元来東西無し いずこにか南北有り 迷
 う故に 二界城 悟る故 十方空)(K・A)



1403-66

134×251 掛幅 1幅
 落款あり

乳の実の
 知、の美の 地、所 許布しも 波、所波
 の 者、所 許布し 和連 於非 ぬ
 登
 (乳の実の 父ぞ恋うしも はそその
 母ぞ恋うし 吾老いぬれど)
 (H・T)



1403-65

154×175 掛幅 1幅

梅の花
 有面の波な 見連婆 雲連し裳 散駕美の
 や あし堂遊布へ 有美を 見川、も
 (梅の花 見れば嬉しも 相模のや 明日
 夕べ 海を見つつも)
 (A・T)



1403-64

188×264 掛幅 1幅
 落款有

高山の
 太加や万能の 小久佐寸賀之 も与 八十
 乃 於比和連 堂万非轉餘 所乃 須賀之
 佐遠
 (高山の 小章清しもよ 八十の老い吾
 賜いてよ その清しさを)
 (K・K)



1403-69

175×237 掛幅 1幅
落款あり

今日もまた (計布も万堂)
計布も万堂 い乃ち堂万いて 万堂利計里
散駕美の 有みや い都能 雲美 見留
(今日もまた 命賜いて いたりけり 相
模の海や 伊豆の海見る)
(A・T)



1403-68

123×282 掛幅 1幅
落款なし

山雷の
山雷乃 和類、駕 許東九 な礼与那連
志羅本祢のや万乃 久都留末傳尔
(山雷の 割るるがごとく 鳴れよ鳴れ
白骨の山の 崩るまでに)
(S・M)



1403-67

175×245 掛幅 1幅
落款あり

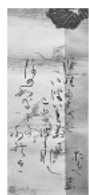
昨日はよし
き乃布波与し 計布も 万堂餘支 あし堂
己所 祢駕布己年奈久 幾美駕萬丹万に
(昨日はよし 今日もまたよき 明日こそ
願うことなく 君がまにまに)
(K・K)



1403-72

129×222 掛幅 1幅

山の上の
や万の上能 御寺寂止して 許へも那し
之川可に 万都類 経乃己衣 の美
(山の上の 御寺寂として 声もなし 静
かに祀る 経の声のみ)
(K・M)



1403-71

145×338 掛幅 1幅
落款「空」

同胞を
波羅可良を い波い堂萬旦 こ止の波も那
し 許の和駕末、の 和礼を 於もへ婆
(同胞を 祝いたまで 言の葉もなし こ
の我儘の 吾を思えば)
(A・T)



1403-70

161×217 掛幅 1幅
落款なし

額ずくも
奴可都久も 於呂駕牟母 宇礼之 静寂
乃 白峰 乃 御寺 非東李 乃美奈留
(額ずくも 拝むも嬉し 静寂の 白峰の
御寺 一人のみなる)
(R・A)



1403-75

169×202 掛幅 1幅

香を奉り
香を奉里 許、呂し川可に 経を誦春
結願 乃日農 己、呂堂里ぬ類
(香を奉り 心静かに 経を誦す 結願の
日の 心足りぬる)
(A・T)



1403-74

132×223 掛幅 1幅

雪の夜○
遊支の夜○ 田楽のまい 山人堂ちは 可
駕李のも止二 夜も 春駕羅 奈留
(雪の夜○ 田楽の舞 山人たちは 篝の
もとに 夜もすがらなる)
(T・O)



1403-73

140×244 掛幅 1幅

夢か夢
夢か夢 有川々可 う都々 古連の世所
な尔も 祢駕わ春 梅を見
(夢か夢 現か現 これの世ぞ 何も願わ
ず 梅を見
(A・T)



1403-78

175×233 掛幅 1幅

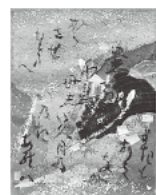
これの世に (許礼乃世二)
許礼乃世二 祢賀布 古東那九 なりぬ連
抒 堂々尔 おも布 ち、波々の古東
(これの世に 願うことなく なりぬれど
ただに思う 父母のこと)
(H・T)



1403-77

179×242 掛幅 1幅

父母を
ち、波々を 許悲都々 気布も久連尔けり
遠非あ祢止 東裳尔遠毛ひ傳 都
(父母を 恋いつつ今日も 暮れにけり
老姉と共に 思いでつつ)
(S・M)



1403-76

156×204 掛幅 1幅

愚翁吾
愚翁 和連 母志い久日所 い乃地 あ羅
母 加、 さ世 堂万へ 与起も あ之支
(愚翁吾 もし幾日ぞ 命あらば 描かさ
せたまへ 良きも 悪しきも)
(K・A)



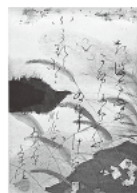
1403-81
155×198 まくり 1枚

三日月の
みかづきの
三日月乃い羅無登須 佛法僧 い万許所
来な計 和連 万都羅牟所
(三日月の 入らんとす 仏法僧 今こそ
来鳴け 吾待つらんぞ)
(A・T)



1403-80
145×210 まくり 1枚

笛と太鼓
ふへとたいこ 三つ非与し二 あ王勢川、
まいにけ類可那 田楽まいを
(笛と太鼓 三つひよ子に 合わせつつ
舞いにけるかな 田楽舞を)
(S・M)



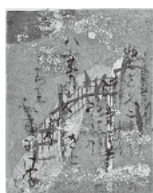
1403-79
175×256 掛幅 1幅
落款あり

茅花野は
都婆奈ぬ盤は 可勢丹布可礼天 ゐ堂りけ梨
ふ可類々末々丹那非支 ゐ太梨気理
(茅花野は風に吹かれて いたりけり 吹
かるるままに なびきいたりけり)(K・M)



1403-84
140×182 まくり 1枚

山桜
やまぐらさきの
山桜散支乃 佐加季 あ李尔 計里 へ
ん呂 立駕所 おも布 許止 奈志
(山桜 咲きの盛り ありにけり 遍路立
かぞ 思うこと無し)
(A・T)



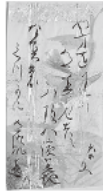
1403-83
171×218 まくり 1枚

土佐国
とさくに
登左久二 津寺御寺□ 可祢乃遠止 八重
乃散久羅乃 ち里 所免尔計李
(土佐国 津寺御寺□ 鐘の音 八重の桜
の 散り初めにけり)
(K・K)



1403-82
180×239 まくり 1枚

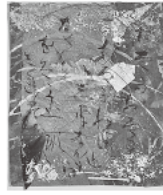
山の奥
や万の於久 乃許牟の月乃 散へさへ止
母乃駕堂留駕 有連し可利計理
(山の奥 残んの月の 冴々と 母の語る
か 嬉しかりけり)
(A・T)



1403-87

102×201 まくり 1枚

山を見つ 海見つ(也万遠見川 有美見都)
也万遠見川 有美見都 八坂八濱美地 な
美裳 之川可仁 有俱非春乃 なく
(山を見つ 海見つ 八坂八濱路 波も静
かに 鶯の鳴く)
(K・M)



1403-86

155×182 まくり 1枚

愚か愚か
於呂可お呂閑 於ろ可和連止 志李な駕ら
加くも を呂可止 志連盤□那しも
(愚か愚か 愚か吾と 知りながら かく
も愚かと 知れば□なしも)
(A・T)



1403-85

153×248 まくり 1枚

山も見えず
や萬も見へ須 谷川乃於止も 可所かな里
計布能 非と○乃 許乃志都気 佐与
(山も見えず 谷川の音も 幽かなり 今
日のひと○の この静けさよ)
(A・T)



1403-90

155×210 まくり 1枚

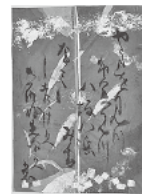
山路
山呂急尔之轉 牟加川や万の 見へ川可
久連都 志羅保祢乃 や抒
(山路 急にして 向かつ山の 見えつ隠
れつ 白骨の宿)
(A・T)



1403-89

120×182 まくり 1枚

元来東西無し
元来東西無 何處南北有 迷故三界○ 悟
故 十方空
(元来東西無し いずこにか南北有り 迷
う故に 三界○ 悟る故 十方空)(A・T)



1403-88

143×206 まくり 1枚

山を見つ 海見つ(也万を見川 布美見川)
也万遠見川 布美見川 八坂八濱 み知
奈三も し都計久 有俱非春奈久裳
(山を見つ 海見つ 八坂八濱路 波も静
けく 鶯鳴くも)
(K・K)



1403-93
125×181 まくり 1枚

昨日も今日も
起乃布も け布母 ま堂止波 あ羅ぬ 一
期一会 花者散久とも 木の葉ち留止裳
(昨日も今日も またとはあらぬ 一期一
会 花は咲くとも 木の葉散るとも)
(A・T)



1403-92
170×215 まくり 1枚

願わくば
柰駕波九婆 い乃ち堂万い傳 堂閑や萬尔
波奈止 閑堂羅布夢の 許登久尔
(願わくば 命賜いて 高山に 花と語ら
う 夢の如くに)
(S・M)



1403-91
117×188 まくり 1枚

春の立つ
波類乃堂川 け布に天あ留迦 い保尔波
紅梅の花乃佐支 所面尔 気李
(春の立つ 今日にてあるか 庵庭 紅梅
の花の 咲き初めにけり)
(A・T)



1403-96
165×190 まくり 1枚

淋しさに
佐美し佐尔 結願の美寺乃 非呂尔波尔
い堂太万連春し天 可祢川支尔計理
(淋しさに 結願の御寺の 広庭に いた
たまれずして 鐘つきにけり)
(S・M)



1403-95
138×234 まくり 1枚

怒り男の 狂える如き
(い可李男乃 久流へ留許東支)
い可李男乃 久流へ留許東支 大奈美乃
遅加羅遠 和連尔 和可堂勢堂末へ
(怒り男の 狂える如き 大波の 力を吾
に 湧かたせたまえ)
(K・M)



1403-94
182×245 まくり 1枚

梅思えば
う面もへ婆たぬし可李け梨 有め可け盤
香の 奈駕連 来ぬ 於も本遊留可難
(梅思えば 樂しかりけり 梅描けば 香
の流れきぬ 思ほゆるかな)
(A・T)



1403-97

145×367 まくり 1枚

落款あり

七七の

七^{しち}七^の能^のい^わ王^わひ^た堂^ま万^ひ悲^て傳^ふ布^し志^ぎ岐^をさを^を牟^む祢^ね

勢^せ末^ま留^る裳^も於^お悲^ひの^の古^こ能^の美^み所^ぜ

(七七の 祝賜いて 不思議さを 胸せま

るも 老いのこの身ぞ) (H・T)